

第58回 日立市民剣道大会 (スポーツ少年団交流大会市予選及び段別選手権大会)

題記の件、下記の要領で実施致しますのでご協力下さるようお願い致します。

1. 期 日：平成27年11月1日(日) 午前9時開始(受付午前8時)
2. 場 所：日製日立体育館 日立市会瀬町4-1-26 TEL:35-3434
3. 主 催：日立地区剣道連盟
4. 後 援：日立市体育協会
5. 参加資格：日立地区剣道連盟所属の道場または日立市内各学校の剣道部に属する者。
各団体は、紅白タスキを持参し着用して下さい。
(1) スポーツ少年団交流大会市予選の部(スポ少登録者を対象とする)
(2) 段別選手権の部：全日本剣道連盟より各段位を授与された有段者及び各学校の剣道部に属する者
6. 試合(*四段以上のみ当日申込可)
(1) スポーツ少年団交流大会市予選の部(日立市代表選手選考：*中学生(男)(女)3位決定で選考する)
小学4年生(男・女)、小学5・6年生(男)(女)、*中学生(男)(女) 小学3年生以下(男)(女)
(2) 段別選手権の部：全日本剣道連盟の段位授与者(：中学生・高校生・一般男女個人試合)
男子の部：無段の部、初段の部、弐段の部、参段の部、*四段以上の部、
女子の部：無段の部、初段の部、二三段の部、*四段以上
7. 試合方法：個人戦試合、試合時間は、小学生(2分)、中学生(3分)、高校・一般(4分)とする。
但し、小学生3年生以下の(男)(女)は、基本判定試合及び審判要領による。(別紙)
8. 組み合わせ：前年度各部門の上位入賞者(4名)をシードとする。
9. 表彰：優 勝、準優勝、三 位
10. 参加料：日立地区所属団体(少年団員及び三段以下の登録指導員)：500¥/人
日立地区の学校剣道部及び三段以下の一般：1,000¥/人
(1) 同封の「郵便振替用紙」で参加料を各団体で一括して振込下さい。
(2) 振込用紙には、費用内訳及び団体名(代表者名)を記載してください。
11. 申込方法：各団体(道場又は学校)は、添付申込書に必要事項を記載して10月6日(火) までに
申込書をFAXにてお願いします。
(電話不可) なお、段別選手権の四段以上(一般)は、当日会場で受付します。
なお段別選手権の四段以上(一般)は、当日会場で受付します。
申込先：高山武道具店 (高山)宛 TEL53-2114 FAX：53-2114

基本判定試合及び審判要領

(1) 基本判定試合内容(元立は、中学生で竹刀中央出受る。選手は、胴/垂の着用)

(a) 立会いの位置で立礼後、試合開始位置にて元立ち及び選手が蹲踞で待機し主審の「始め」の宣告により赤白同時に切返し-打ち込みを続けて行う。

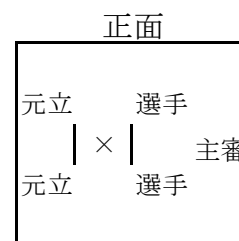
・切返し・・・正面打ち⇒前進して左右面 4 本⇒後退して左右面 5 本正面打ち元にもどらないで続けて打ち込みを実施する。(2 回繰返す)

・打ち込み・・・正面打ち 3 本⇒小手-面 2 本

元に戻り主審の宣告ののち交代する。

(b) 切返し-打ち込みが終了したら主審の「判定」の宣言で勝旗(赤白)を上げる。

・勝敗は、切返し、打ち込みの総合判定とする。(総合判定基準は下記の通り)
(全日本少年少女剣道大会試合実施要領抜粋)



試合開始位置

(2) 総合評価の着眼点

(a) ただ速く動作ができていだけではなく、正しく、リズムや拍子を持って動作をしているかを見る

- ・ 剣道具・剣道着・袴の着装ができていのか。
- ・ 正しい蹲踞ができていのか。
- ・ 竹刀の持ち方は、正しいか。(左・右 打ち手になっているか)
- ・ しっかりと手首(刃筋)を返し、伸び伸びと大きな切り返しができていのか。
- ・ 切り返しや技を出すとき、左こぶしが左右に動いていないか。
- ・ その技は、正しく動作しているか。

(b) 正しくひとつひとつ見るためには、下記のような留意点を観察する必要があるが、少なくとも「総合評価の着眼点」を見て判断する。

① 切り返しの留意点

- ・ 竹刀の振り方は、正しいか。
- ・ 足の運びは、正しいか。(退き足が歩み足にならないか)
- ・ 左右の面の打つ角度が、約45度になっているか。
- ・ 「正面打ち」のとき、一足一刀の間合から打っているか。
- ・ 竹刀の打突部位を正しく打っているか。
- ・ 「左右面打ち」のとき、左こぶしが正中線を通り相手の見える所まであがっているか。
- ・ 「正面打ち」のとき、両腕が自然に伸び、左こぶしが中心(みぞおち)に納まっているか。
- ・ 最後まで気合と体勢が崩れないか。

② 打ち込み・稽古の留意点

- ・ 足さばきは、正しいか。
- ・ 技に適した足さばきができていのか。
- ・ 間合取りが適切か。
- ・ 技が正確(気剣体一致)であるか。
- ・ 最後まで気合いと体勢が崩れないか。
- ・ 残心がなされているか。

12. 大会運営要領

1. 事務局(日立地区連)と当番団(十王)は、総務一般とする。(試合記録、表彰等の取纏)

1. 参加団体申込書には、各部門チームと審判名記載追加
2. 審判員の各試合場割振りは、審判長が決定する。
3. 試合進行で審判員を各試合場へ移動しますので指示に従って下さい。
4. 当番団は、会場設営、各試合場記録から大会記録取り纏、接待、賞状作成補助

2. 試合会場係

試合場	1	2	3	4	5	6
会場係	明信館	金 沢	日立Jr	斯道館	泉心館	豊 浦

3. 会場準備：審判団、試合場係関係者は午前8時までに来場して下さい。

(1) 試合場用に、審判旗6組、時計、ホイッスル、カッターを準備して下さい。

(2) 試合場には、机、椅子、掲示板等を設定して下さい。

(3) 試合場の試合記録は、入賞者：その都度、 トーナメント表：試合後本部へ提出して下さい。

4. 審判依頼 審判長：柳橋 広之

団体名	日高	豊浦	斯道館	多賀	河原子	金沢	泉心館	明信館	日立剣友会	十王	日立Jr	日立消防	駒王剣友会	中体連	高体連	合計
審判数	3	3	2	3	3	4	3	5	1	5	2	4	3	4	4	49

5. その他

本大会の「スポーツ少年団交流大会市予選の部」成績により、スポーツ少年団交流大会県予選に出場する日立市代表選手がきまります。

試合終了後に監督を事務局(審判員及び優勝者(中学生は三位まで)の団体代表者)で会議室で選考します。